

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

米政策など当面する対策について、要請・意見交換を実施

道農連は4月4日、5日に大久保明義副委員長(米・水田農業対策委員長)を先頭に各地区代表17名で米政策改革及び今国会で審議されている収入保険制度や種子法廃止法案等、当面する対策について中央行動を実施し、与党農林関係議員や道選出国会議員への要請と農水省との意見交換を行った。米政策改革について、「米穀の需給及び価格の安定」の責務を果たすため、生産調整の円滑な推進に努めること。そのために、「米の直接支払交付金」の財源を生産調整の達成や需要に応じた米生産に活用することが重要だと訴えた。今後は中央行動の経過を踏まえて、米の直接支払交付金の財源活用対策など緊急の課題について、さらに組織内で議論し、6月中旬に中央行動を実施する予定となっている。

第2回執行委員会を開催

道農連は4月18日に第2回執行委員会を開催した。基本農政対策をはじめ、春闘の業態別対策の取組などについて協議した。また、平成30年3月で期限切れとなる免税軽油制度の恒久化対策策定に向けて、各地区で使用実態調査を行うとした。

次回は、6月27日に執行委員会を開催予定。各業態の中央行動の進捗状況と今後の集大会等について議論する。

道農業青色申告会定期総会を開催

道農業青色申告会は4月8日に定期総会・研修会を京王プラザホテル札幌にて開催し、平成29年度の事業計画や新役員などを決めた。新たに中原道農連書記長が会長に、石田 JA道中央会営農指導支援センター長が副会長に就任した。総会後には、札幌国税局大塚記帳指導専門官から「税制改正」、道税理士会森下業務対策部農業小委員長から「経営力向上計画認定による固定資産税の半減対策」について、各々をテーマに税研修会を行った。

天北地区農連定期総会・研修会を開催

天北地区農連は4月12日に第45回定期総会・研修会を開催した。道農連から、中原書記長が出席。平成29年度の役員改選では、井田委員長、石堂副委員長、中島書記長の全員が再任された。その後、酪農ヘルパー事業について農水省畜産部担当者との意見交換を行った後、管内の各六地域のヘルパー組合の代表者から現状と課題が報告された。

5月の活動予定

- 1日 第88回全道メーデー大会
- 12日 新・共謀罪の強行採決をさせない緊急集会
- 14日 北海道内における鉄道の維持・存続に関する要請
- 16日 各地区事務局会議
- 21日 「種子法廃止」を考える緊急シンポジウム
- 22日 第1回てん菜生産振興対策に係る打合せ
- 26日 道てん菜協会第31回通常総会・理事会
- 27日 北海道農団労第25回定期総会

4月の活動記録(上記以外)

- 3日 道農業青色申告会会計監査
- 11日 道てん菜協会第1回企画調整専門部会
- 18日 三役会議
- 19日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 20日 JR路線見直しに関する学習会
- 25日 Jミルクブロック会議
- 27日 道てん菜協会理事会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。